

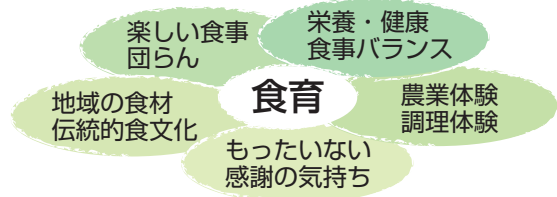


学校は、今...

SCHOOL REPORT ③

食育の取り組み

田原市の学校では、地域の方との交流を深めながら食育への取り組みを行っています。今回は、赤羽根小学校、野田小学校、堀切小学校の取り組みをご紹介します。 ●指導課 ☎ 23局 3679



▶ランチルームで招待給食

食育は、楽しくおいしい給食の時間から

【赤羽根小学校】

ランチルームでの「なかよし給食」では、保護者や地域の方を招待し、和やかな雰囲気の中で会話をはずませながら、楽しい給食の時間を過ごしています。栄養教諭が毎日発行する「らん・らん・らんち」を参考に、食品の栄養や由来、マナーや偏食などについて学んでいます。



▶地域の方との梅干し作り

地産地消で、心も体も元気いっぱい！

【赤羽根小学校】

地域の方と中学生や小学生が一緒になって、地元で採れた梅で梅干しを作りました。楽しみながら作ることで、地域への愛着が増してきました。郷土料理や栽培活動の指導を通して、地域の方と直接話をすることで、感謝の心も育まれました。



▶親子でもちつき

心おどる 心つなげる 心ひろげる

【野田小学校】

保護者や地域の方と一緒にやるもちつきには格別の楽しさがあり、「野田小フェスティバル」を盛り上げています。フェスティバル当日は、4月から栽培してきた作物について、各学年で調べたことや栽培の様子、調理方法などをクイズや劇にして発表します。食の大切さを学ぶ良い機会となっています。



▶自分たちで育てたそばの収穫

そばの栽培活動を中心に食育を広げる

【堀切小学校】

「食育フォーラム」で、4年生は自分たちで育てたそばの実を使い、みそ味とあんこ味のそば団子を作って地域の方に食べてもらいました。「おいしいよ。」の声に、「栽培や収穫は大変だったけど、やってよかった。」と思いました。また、そば打ち体験も行い、自分たちで育てたそばのおいしさに感動しました。